

デビュー35周年おめでとうございます！私は先日「卒業」をカバーさせていたのですが、由貴さんの心揺れ動くような歌声に改めて魅了されました。いつか一緒に何か歌わせていただける日が来たら嬉しいです！

——**生田絵梨花** (アイドル・女優)

齊藤由貴さま、セルフカバーアルバムのリリース、おめでとうございます！35周年記念コンサートの際、目を見つめ合って「少女時代」を歌わせていただいたことはきっと生涯忘れることは無いと思います。これからも艶やかな歌声で、私をはじめ多くの方々に照らし続けてください！

——**上白石萌歌** (女優・アーティスト)

順番に聞かなきゃいけないのは分かっていますが、つい「XXIV かなしいことり」を、真っ先に再生してしまいました。はい。カセットテープXIVASCMixングです。「ごめんね、いままで黙ってて、ほんとは彼がいたことを」始まる前に終わってた恋の歌。せつない。ちょっと落ち着いてから頭から全曲聴きました。「ごめんね」という求めてないんだっつーの感じが漂うのですが……さすがです。分かってる。時の流れと、経験と後悔と年齢と疲れに、優しく寄り添うようなアレンジ、透きとおる歌声。限りなく、35年前と同じ感情が沸き上がって来た。制服なんかもう何十年も着てないのに、下級生に胸のボタンをねだられる夢を見ました。これで「青春という名のラメメン」が復刻してくれたら、完全に15歳に戻れるんだけどな。

——**宮藤官九郎** (脚本家・監督・俳優)

デビュー当時からその歌声、お芝居、エッセイ、イラスト、声の仕事、その全てにおいて稀有な存在だと思っていました。僕にとって、その唯一無二の存在は今も色褪せることは全くありません。由貴さん、35周年おめでとう。50周年もまたこうしてお祝いしたいです。

——**是枝裕和** (映画監督)

怖くて前に進めない？そんな時は由貴ちゃんの歌を聞こう。静かに、強く、端正な歌声が真っ直ぐに語りかけてくる。『勇気を出して、日々を隅々まで生きよう』と。その宛先は勿論、今、彼女に耳を傾けているあなただ。

——**内藤剛志** (俳優)

中学生のころ、由貴さんが歌詞を書いた舞台「シンデレラストーリー」の曲を私もこっそり部屋で口ずさんでいた。由貴さんのフィルタが掛かった言葉には説得力がある。そして、由貴さんのフィルターを通して声には強さと優しさがある。長く長く愛される人、由貴さんにはそれを感じる。

——**長澤まさみ** (女優)

35周年おめでとうございます。
スケバン刑事の頃からファンです。
僕にとって歌うヒーローの齊藤さん。さすがにもう戦わないと思います、これからも素敵な歌声を聴かせて下さい。

——**バカリズム** (お笑い芸人)

六本木のスタジオで卒業を録音したのが、まるで昨日のようだ。京平さんも録音に立ち会っていたが、珍しく上機嫌だった。卒業式で泣かないちょっと変わった女の子の詞を書いたのだが、録音の日まで齊藤さんには会ってない。会ってないのになんか彼女の本質を言い当てた気がして、ちょっと予言者のようだった。あれから36年過ぎたが、やはり彼女は少し世間からずれながら、女優の王道を歩いている。

——**松本隆** (作詞家)

由貴さんと僕とはソウルメイトの関係です。そんな僕が断言します。今回のアルバムは相当出来がいいです。どの曲も素晴らしい仕上がりにです。もちろんまだ聴いてませんが、それくらいは分かる。ソウルメイトですから。

——**三谷幸喜** (脚本家)

彼女は魔法使い。愛しいイントロが流れればいとも容易く35年前の齊藤由貴に戻ることができるのに、彼女は今日魔法を封印した。唇をひらく。武部聡志が張り巡らした罫にも似た真新しい響きの中で、懐かしい言葉を歌う。それは未来に挑むこと。心が満ちた水のように幾重にも震える。

——**森雪之丞** (作詞家)